



いわき けんじ  
岩 脇 圭 一



津みらい

### 津市一般会計予算から 商工業振興費を問う

**問** 市長は、津市政のテーマとして「夢を語り、挑む都市づくり」を掲げ、施政方針で「『ワクワクができればコロナ禍前の暮らしに戻れる』という思考は改めざるを得ず、新しい社会や生活様式に対応するニュースタンダードが未来に向け確立しつつある」と述べたが、「対コロナ戦略」の新規事業予算として計上している「がんばる事業者情報発信・相談拠点事業」とは、

### 市内事業者への支援を 引き続き行っていく

**答** 当該事業は、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた事業者に対する支援として令和2年度および3年度に実施してきた「がんばるマルシェ」を基本とし、ステップアップ事業として、感染防止対策やデジタル社会への対応に工夫して取り組んでいる市内事業者に引き続き支援を行うものである。

事業内容としては、チラシの配布やパネルによる商品の展示販売への取り組み、デジタルツールによる事業者PRや事業者のデジタル化を推進するデジタルよろず相談窓口の設置など、コロナ禍に対応して事業継続に尽力している市内事業者を支援するものとなっている。

### ●その他の質疑・質問●

- 中長期的な都市づくりや消費者・事業者の変化を意識した商業振興事業の方向性について
- 公共施設マネジメントについて取り組みの評価は
- 国体後のスポーツ振興を見据えた施設整備計画の策定は
- 海浜公園内陸上競技場の改修について
- ハラスメント防止の取り組み状況、体制づくりは **など**



▲がんばるマルシェに続くさらなる事業者支援を



やすだ しゅうへい  
保 田 勝 平



津和会

### 白山地域内産業廃棄物 最終処分場建設計画は

**問** 自然豊かな青山高原にて処分場の建設が計画されている。林地開発に伴い、災害発生リスクが高まることや生態系への影響が懸念されており、また、処分場運用開始に伴い、汚染水の浸水による農業への影響も懸念されている。これらの懸念があり、既に白山地域を中心に反対署名運動も展開されているが、津市としてはどのように捉えているのか。

### 今後環境影響調査が行 われるものとする

**答** 当該事業計画については、現在、三重県環境影響評価条例に基づく環境アセスメントの方法書の手続き段階であり、詳細が明らかになっていないが、一般的に環境保全の観点からは、開発に伴う自然環境、生態系への影響や処分場内で発生する浸出水や処理水が周辺環境に及ぼす影響などが少なからずあると考えている。今後、事業計画者により、さまざまな環境影響評価が行われていくと考えているが、津市としては、住民の意見や不安を抱いている理由を把握した上で、事業計画者に対して、期限となる4月21日までに環境保全の見地から意見を述べていきたい。

### ●その他の質疑・質問●

- 津駅西口整備事業について
  - 国・県・市共同設置の「津駅周辺道路空間検討委員会」とのすみ分けは
  - 東口と西口の連携について
- プレミアム付デジタル商品券発行事業について
  - デジタル商品券にした狙いは
  - デジタル化するメリットは
  - 取得するデータの活用方法は
  - 利用に伴うサポート体制は



▲最終処分場の建設が計画されている自然豊かな青山高原